

こだま新聞

第185号

平成23年3月

秋田県感染症発生情報

秋田県感染症情報センターでは週ごとに県内の感染症の発生情報を公開しています。2月21日～2月27日週報を見ると、インフルエンザ

1月第4週がピークで現在発生数は下降しています。それでも五城目町や三種町で集団発生していて要注意状態です。

感染性胃腸炎

昨年12月初旬をピークに減少しましたが毎週定点あたり5人程度の発生があり、まだ油断できません。中央地区では先月末に秋田市内の保育園で集団発生しております。

伝染性紅斑(りんご病)

全国的に流行しています。平成12年以降では平成19年に次ぐ多さと報告されてい

ます。宮城県で全国3番

目の発症数。秋田県では大館市、北秋田市での発生が

報告されています。りんご

病は妊婦が感染すると流産の危険があります。咳や

くしゃみ、接触によって感染

しますが、感染自体を防ぐ

ことは難しいようです。流行

している施設に立ち入らぬ

よう注意が必要です。



虫歯の治療放置

全国保険医団体連合(全国の保険医、保険歯科医らの集まり)は3月1日に「1万人市民アンケート」の結果を公開した。

「虫歯や歯周病があっても治療費が心配で治療せず放置している」と答えた人が4割近いことが分かった。

保団連は「歯科は医療保険が使えない治療が多く、経済的に苦しい人は治療を控えている」としている。対策として「保険適用拡大や原則3割負担の引き下げが必要」としている。

調査は昨年10月から12月に行われた佐賀県、沖縄県を除く45都道府県の1万人に対するアンケート。

歯科治療を放置していると答えたのは3710名。年齢別で見ると、20歳から50歳では4割、60歳以降では3割、10歳以下では3割弱となっていた。治療放置した理由では「時間がない」「費用が

心配」「治療が苦手」となっていた。また、窓口での支払い負担が「高い」と答えたのは全体の半数以上を占め、9割が「保険適用の拡大」を求めている。

共同通信から(一部改変)

古城址サミット

NPO法人「浦城」の歴史を伝える会では今年8月に「全国古城址サミット」を開催するため2月に実行委員会を立ち上げました。4月3日に行われる通常総会で承認を得た後、本格的な準備に入ります。

今月の行事

3月

- 10日 日本語スピーチ大会
- 10日 中学校卒業式
- 12日 卒園式
- 12日 クライン定例会
- 12日 秋盛会総会
- 13日 ロマンの里運営委員会
- 13日 県埋蔵文化報告会
- 17日 日本語教室生花交流
- 26日 男鹿南秋歯会総会

JA秋田厚生連 湖東総合病院

人も自然もいのちも大切にする地域
南秋田郡 湖東地区

お医者さんを探しています
— 医師も無理なく住民も安心 —
私たちは、そんな病院で働いていただける医師を求めています。

現在募集中の診療科
小児科 内科系全般 産婦人科 泌尿器科

医師募集のパフレット配布